

令和2年度事業報告

I、重点項目

- ①若草園改築・グループホーム建設
- ②地域生活支援の拡充・強化
- ③重度高齢障がい者の生活支援
- ④人材確保及び人材育成
- ⑤職員の離職防止・職場定着

II、具体的な取組み

1、法人運営

(1) 理事会・評議員会の開催

事業運営の執行機関としての理事会、議決機関としての定時評議員会を開催した。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面開催と対面開催の併用とした。

(2) 監査の実施

監事監査を実施し、事業運営及び予算執行並びに財政運営の適正化を図った。

(3) 透明性の確保

- ①法人運営の透明性を確保するため、法人現況報告書並びに一部財務諸表及び役員報酬基準、役員報酬総額を法人ホームページにおいて公表した。
- ②障害福祉サービス等の情報公表制度に基づき、基本情報（所在地・従業員数・営業時間等）や運営情報（権利擁護・苦情対応・安全管理等）を東大阪市に報告した。

(4) 会議の開催

- 新型コロナウイルス感染防止の観点から、リモートにより開催。
- ①人事、労務、財政、新型コロナウイルス感染症対策、施設建設等法人課題に関する検討を行うため、管理職会議を開催した。
- ②施設長、主任を中心とした運営会議（1回/月）において、全事業の実施状況の共有、課題の共有と解消についての検討を行い
- ③3施設共通事項の検討を行うため、「給食会議」、「送迎会議」、「自主製品会議」を必要に応じ開催した。

(5) 行政等関係機関との関係強化

東大阪市の障がい福祉向上に寄与することを目的に、東大阪市障害者自立支援協議会、東大阪市障がい児・者福祉施設連絡会、NP0法人東大阪障害者共同受注連絡会等に役員を送り出し、その運営に参画した。

2、組織強化

- (1) 組織強化に向け、事務局長人事及び管理職採用について検討を行い、その具体化を図ることとした。
- (2) 中長期を見据え、限られた「人」・「物」・「金」を最大限活用し、コンパクトで効率的な事業運営の実現に向け、「事業再編検討会議」を設置し、2022年度からの事業運営に向け、事業の統合、利用者定員、一部事業の廃止、事業規模、各種委員会の再構築等について方針を策定した。
- (3) 公認会計士による財務会計に係る点検等を毎月行い、財政運営の安定確保に努めるとともに、福祉サービス費（収入）及び事業支出については、各事業所で管理を行い、稼働率向上や加算算定による収益改善に努めた。
- (4) プライバシーポリシー・虐待防止マニュアルを遵守し、利用者の人権を守るとともに、法人の信用性の向上・組織の安定化に努めた。
- (5) 労務管理
 - ① 同一労働・同一賃金の実現を図るため、賃金基準、諸手当等の見直しを行うとともに、賃金体系については、格付けをより明確にする役割等級制度を導入した。
 - ② 増大する事務業務や支援現場での記録業務等の効率化・省力化を図り、業務の生産性向上を実現するため、「ICT戦略会議」を設置し、業務のICT化に向けた具体策について検討を行った。
 - ③ 職員の人格侵害を防止し、職場環境の改善を図るため「パワーハラスメント防止規程」を定めた。
 - ④ 職員が疲労やストレスを感じることの少ない、働きやすい職場環境づくりに向け、全職員対象にストレスチェックを実施した。
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策として、可能な職場については、テレワーク並びに時差出勤を実施した。

3、若草園改築及びグループホーム建設

- (1) 地域協議

8月より、近隣住民、地権者、自治会等に建設スケジュール・建設概要・工事工程についての説明を行い、理解を得た。
- (2) 入札・業者決定

仮設整備工事・解体工事・建設工事について、行政の指示に基づく一般競争入札を行い、その都度理事会の承認を得た上で、業者を決定した。

仮設整備工事については9月末に、解体工事については12月末に完了し、建設工事については1月14日に起工式を執り行い、工事がスタートした。

4、人材確保

人材確保担当職員を中心に、学校訪問、就職フェア参加、求人サイトの登録（新卒者・非常勤）・インターンシップフェア参加（オンライン説明会）・施設見学等の取り組みを行い、新卒者2名の採用を決定した。また、組織強化の観点から、管理職者1名の採用を決定した。

■ 学校訪問

訪問日	訪問先
9月2日・11月9日	関西福祉科学大学・四天王寺大学
9月9日	樟蔭女子大学
9月10日	近畿大学
9月17日	東大阪短期大学
9月27日	城南女子短期大学

■ 就職フェア

開催日	名 称
2月17日	フクシゴト就職フェア（2021卒）
6月28日	フクシゴトインターンシップフェア(オンライン)
7月10日	大阪城南女子短期大学合同説明会
10月14日	東大阪商工会議所就職フェア
12月12・13日	東大阪市社会福祉協議会就職フェア

■ 求人サイト登録

サイト名	登録期間
マイナビ	令和2年3月～令和3年3月
フクシゴト	令和2年3月～令和3年3月
マイナビ	令和2年11月～令和3年3月インターンシップ
マイナビ	令和3年3月～令和4年3月中途採用（非常勤掲載）
Indeed・ハローワーク	令和2年3月～現在

■ 法人説明会・施設見学・インターンシップ（WEB含む）

開催日	対象者	参加人数
随時	新卒者	18名
〃	非常勤者	10名

■ 大学授業

授業日	大学名	聴講学生数
新型コロナウイルス感染症のため中止		

■ 内定懇親会

開催日	参加人数
令和2年12月8日	2名(オンライン)
令和3年2月10日	2名

■ 採用試験

開催日	場 所	受験者数
令和2年8月29日	東大阪市市民多目的センター	6名

5、人材育成

利用者サービスの向上と職員のスキルアップを図るため、体系的な研修を実施した。とりわけ、今後の法人運営・事業運営の中核となる管理職・主任・中堅職員に対しては、福祉専門分野ではなく、「組織運営・人材管理」の研修を強化した。また、新人職員に対しては、離職防止・職場定着を図るため、きめ細かいフォロー体制を構築した。

■ 新人研修

開催日	研修名	講 師
令和2年 4月3日(金)	若草会の理念・歴史・事業について 福祉職員としての心得	理事長 松本施設長
令和2年 6月3日(水)	就業規則説明 社会人マナーの習得	中屋 下原
	振り返り(2カ月) チームワークとコミュニケーション	霜田 衣笠施設長
令和2年 7月8日(水)	観察・記録の的確さについて	高嶋・濱崎
令和2年 9月2日(水)	若草会事業内容について(プレゼン)	篠原・山本・米山 濱崎
令和2年 11月16日(水)	仕事の進め方PDCAサイクルについて	木下・東
令和3年 1月6日(水)	仕事観「自分の仕事観について」	中屋・古市
令和3年 2月3日(水)	振り返り1年を通して 新人フォローアップ(モチベーション)	下原

■ 全体研修

開催日	研修名	講師
令和2年 10月8日（木）	「メンタルケア研修～セルフチェック～」	市村治療院 院長 市村 弘美氏
令和3年 2月16日（火）	「LGBTから学ぶ多様性 職場でのダイバーシティを考える」	うるわ総合法律事務所 代表 弁護士 仲岡しゅん氏
令和43年 3月19日（金）	「医療連携について」	藤井会訪問看護ステーション 所長 津野 美千子氏

■ 階層別研修

● 管理職・主任クラス

開催日	研修名	講師
令和2年 8月21日（金）	「制度政策について（定款について）」	理事長
令和2年 10月29日（木）	「財務管理について」	松野税理士公認会計士事務所 代表 松野 剛史氏
令和2年 12月17日（木）	「経営戦略とマネジメント」	(株)ノーサイド 代表 中西 良介氏
令和3年 2月26日（金）	「労務管理と就業規則について」	理事長

● 主任・4年以上

開催日	研修名	講師
令和2年 9月11日（金）	ファシリテーションスキル 「合意形成や具体的ゴールが決まる有効な会議のすすめ方（Ⅰ）」	相談支援センターnico 奥田 公美賀氏
令和2年 11月13日（金）	ファシリテーションスキル 「合意形成や具体的ゴールが決まる有効な会議の進め方（Ⅱ）」	相談支援センターnico 奥田 公美賀氏
令和3年 1月29日（金）	人材育成 「キャリアデザインという「考え方」を知る・体感する」	相談支援センターnico 奥田 公美賀氏

● 3年以下

開催日	研修名	講師
令和2年 10月30日（金）	介護基礎コース（Ⅰ） 移乗・介助面での配慮実践について （ポジショニング・ボディメカニクス）	職員：木下・樋水・遠山
令和2年 12月25日（金）	介護基礎コース（Ⅱ） てんかんの理解	職員：看護師 中山
令和3年 2月12日（金）	介護基礎コース（Ⅲ） 気づきと考える力の学び（支援計画と日中 活動計画について）	職員：日下部・児玉

6、地域貢献

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全ての地域向け事業については中止した。

7、重度高齢障がい者の生活支援

2022年4月開設予定の新グループホームの運営に対応できるよう、人員配置の具体化について検討を進め、複雑な勤務体制が予想されることから、近隣高齢者施設を視察し、勤務シフト作成にあたっての参考とした。

一方、入居基準、家賃等についての検討も重ね、ご利用者・ご家族への説明会等の実施についての方針を決定した。

8、医療的ケア

看護師4名を配置し、日常的な医療支援を実施するとともに、嘱託医の定期訪問、訪問リハビリテーション、訪問歯科を実施し、健康管理に努めた。

9、感染症予防

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、職員に対し検温・手指消毒・マスク着用等の基本的対策の徹底と不要不急の外出自粛・3密回避・ソーシャルディスタンスの励行について強く要請を行うとともに、支援現場においては、食事・排泄・歯磨き・入浴等密接せざるを得ない場面では、ゴーグルやフェイスシールドの着用、施設の消毒・送迎車両の消毒等可能な限りの対策を講じた。

勤務体制においては、相談支援センターあいんにおける在宅勤務の実施、公共交通機関利用職員の時差通勤、職員の施設間移動禁止、WEB会議導入等の対策を講じた。また、施設見学・ボランティア・貸室等外部からの訪問については延期や自粛要請を行った。

一方、運営面においては、「3密」を回避するため可能なご家族への通所自粛依頼、グル

ープホームにおける週末帰宅の自粛要請、ガイドヘルプサービスの縮小、ショートステイの一時停止等リスク回避の対応を行うとともに、空気清浄機、加湿器、防護服、消毒液等の衛生備品を行政の補助金を活用し可能な限り整備した。

様々な対策を講じた結果、感染者を出すことはなかったが、予断の許さない状況が続く中、引き続き緊張感をもって感染防止対策を講じていかなければならない。

10、災害対策

災害対策についての取り組みは実施できなかった。

11、自主製品

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、あらゆるイベント等が中止となり、販売については年末商品のみとなった。

12、美術展開催

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、東大阪市役所等で予定をしていた美術展を中止せざるを得ない状況となったが、ホームページを活用したWEB美術展を開催した。

Ⅲ、総括

- (1) 新型コロナウイルス感染症に関しては、感染拡大に歯止めがかからず、2度にわたり緊急事態宣言が発出された。

大阪府においても、多様な業種において休業要請等が出されたが、社会福祉施設においては休業要請対象外となり、利用者の日常生活に影響は出ないとなった反面、職員は「感染リスクへの不安」と、「自分が媒介者となり施設に持ち込んではいけない」という精神的な負担を抱えながらの1年であった。各事業においては、予定していた取り組みの大幅な変更又は中止、事業の縮小等感染防止対策に多くの労力を費やした。

様々な対策を講じた結果、感染者を出すことはなかったが、予断の許さない状況が続く中、引き続き緊張感をもって感染防止対策を講じていかなければならない。また、感染防止に大きな効果があるとされる新型コロナウイルスワクチン接種については、東大阪市全体の課題として捉え、東大阪市障がい児・者福祉施設連絡会、東大阪市指定障がい福祉サービス事業所連絡会、福祉部障害者支援室等関係機関と協議を進めながら、円滑なワクチン接種対策を講じる必要がある。

- (2) 新型コロナウイルス感染症が拡大する中、採用活動については当初計画の大幅な変更を余儀なくされたが、オンラインによる就職フェアへの参加や求職者への法人説明等を取り組み、新卒者2名の採用を実現できたことは評価したい。

一方、2022年4月開設予定の新グループホームの円滑な運営に向け、引き続き泊勤務非常勤職員の確保に注力する必要がある。

また、組織運営上必要であれば、経験豊富な人材の登用を視野に入れることも必要である。

人材確保については、これまでの概念を払拭し、障がい者雇用・高齢者雇用等多様な雇用対策を進めていく必要がある。

- (3) 新若草園・新グループホーム建設については、地域住民からの苦情もなく現時点で予定通り進めることができている。今後は、工事関係者による1回/月の定例総合会議において進捗状況の把握を行っていきたい。
- (4) 重度高齢障がい者の生活支援については、新グループホームの開設が大きく期待されているところであるが、希望者全員が入居可能ではない中、入居に向けたプロセスを慎重かつ的確に進めていかななくてはならない。また、成年後見開始をはじめとする入居条件については、ご利用者・ご家族に丁寧な説明を行っていかなくてはならない。
- (5) 効率的な組織運営を図るため、「事業再編検討会議」を設置し、2022年4月の新若草園開設に伴う事業の再編について方針を策定した。
生活介護事業（若草園・若草工房）の統合、就労移行支援事業（アストラス）廃止に向けた準備、あいん・アンサンブル事務所の新若草園への移転等事業再編検討会議で策定された方針を着実に具体化していくとともに、再編後の各事業の特徴（強み）を明確にし、法人の魅力発信に繋げていく必要がある。

■ 会議の開催状況

1、定時評議員会

開催年月日	議 題
書面決議 (令和2年6月16日通知)	1、令和元年度事業報告について 2、令和元年度決算の承認について 監事監査報告 3、基本財産の処分について

2. 理事会

回	開催年月日	議 題
第1回	書面決議 (令和2年6月8日通知)	1、令和元年度事業報告について 2、令和元年度決算報告について 監事監査報告 3、若草園建て替え工事に関する入札参加資格及び入札参加者募集に係る公告事項並びに公告の方法について 4、基本財産の処分について 5、パワーハラスメント防止規程の制定について 6、令和2年度定時評議員会の日時・場所並びに議題・議案について
第2回	令和2年7月21日	1、仮設整備工事入札参加業者の選定について 2、仮設整備工事・解体工事の現場説明要綱について 3、仮設整備工事・解体工事に係る予定価格について 4、福祉医療機構福祉貸付資金申し込みについて 5、福祉医療機構借入に係る連帯保証人について 6、福祉医療機構借入に係る担保提供物件について
第3回	書面決議 (令和2年7月28日通知)	・若草園解体工事入札参加業者の選定について
第4回	書面決議 (令和2年8月13日通知)	・障がい福祉サービス事業所改修工事に係る工事請負契約締結について
第5回	書面決議 (令和2年9月4日通知)	・若草園解体工事に係る工事請負契約締結について
第6回	令和2年9月23日	1、若草園+GH建設工事入札参加業者の選定について 2、若草園+GH建設工事の現場説明要綱について 3、若草園+GH建設工事の予定価格について

第7回	書面決議 (令和2年10月21日通知)	・若草園+GH建設工事に係る工事請負契約締結について
第8回	令和2年11月26日	1、令和2年度上半期事業報告について 2、令和2年度第1次補正予算について
第9回	令和3年3月24日	1、令和2年度第2次補正予算について 2、令和3年度事業計画について 3、令和3年度予算について 4、継続雇用規則の全面改正について 5、育児休業・介護休業に関する規則の全面改正について 6、事務局長並びに施設長の選任について

■ 関係機関会議への参画状況

会議名等	職名	対応者
東大阪市自立支援協議会 運営委員会 ケア連絡会 東地区ケア連絡会・指定特定ネットワークサ ロン	委員 会長 事務局	宮田・八尾 八尾 八尾・岩崎・永松
東大阪市社会福祉審議会	委員	宮田
東大阪市障がい児・者福祉施設連絡会	会長	宮田
東大阪市指定障がい福祉サービス事業所連絡会	幹事	木村
東大阪市障害支援区分認定審査会	委員	松本・八尾
大阪市障害支援区分認定審査会	委員	八尾
東大阪市ケア連絡会	会長	八尾
東大阪市相談支援事業所連絡会	委員	八尾
大阪弁護士会委託相談支援巡回相談事業	事務局長	八尾
大阪府障がい者相談支援アドバイザー	—	八尾
東大阪市就労支援ネットワーク会議	委員	東
東大阪市就業・生活支援センター運営委員会	運営委員	中村
NPO法人東大阪市障害者共同受注連絡会	理事	中村
地域福祉推進ネットワーク会議 東地区	幹事	八尾
地域福祉推進ネットワーク会議 中地区	委員	松本・霜田
東大阪市福祉施設団体連絡会	副会長	宮田
東大阪市福祉施設団体連絡会人材確保PT	委員	下原
東大阪市文化芸術審議会	委員	中島
東大阪市集団給食研究会	監事	宮田